

平成 30 年度 緑ヶ丘区地域未来ビジョン作りに関する取り組み状況

| | | | |
|-------------|-----|--|---|
| 第 1 回 | 実施日 | 平成 30 年 7 月 7 日 (土) | ■村長から未来ビジョン作成について説明 ・緑ヶ丘区は村内で唯一高齢化率が 50%を超えておいることから、1 番最初に考えなくてはいけない地区としてこの緑ヶ丘区を選んだ。 ・ネガティブな事ばかり考えていくとやる気も良い発想もなくなってしまうので、あえて明るい未来を一緒に考えていきたい。「未来ビジョン」として、5、10 年先の将来に何をしていけば良いかを皆さんに考えてほしい。この地域を、住民同士の結びつきも作りながら、「住んでいて良かった」と思えるようなものにしたい。 |
| | 時間 | 17:00~18:00 | |
| | 場所 | 緑ヶ丘区自治集会所 | |
| | 参加者 | 自治会関係者 17 名 村長 村民生活部長 地域づくり推進課員 | |

| | | | |
|-------------|-----|--|--|
| 第 2 回 | 実施日 | 平成 30 年 9 月 19 日 (水) | ■ワークショップ ①『緑ヶ丘区の魅力』 <i>人間的に良い人が多いので付き合いやすい／高齢者への思いやりが深い／ほぼ同年代で会社勤め経験者が多いので、行事をするのに賛同が得られやすい 等</i> ②『緑ヶ丘区に足りないもの』 <i>子どもの人口が少ない／若い人が活躍する場／日用品の買い物ができる店舗／飲食店／交通手段／近所付き合い／安全に歩けるような遊歩道 等</i> |
| | 時間 | 13:30~15:30 | |
| | 場所 | 緑ヶ丘区自治集会所 | |
| | 参加者 | 自治会関係者 13 名 村長 村民生活部長 地域づくり推進課員 | |

| | | | |
|-------------|-----|--------------------------------|---|
| 第 3 回 | 実施日 | 平成 30 年 11 月 30 日 (金) | ■ワークショップ 『地域で支え合いをしていくために必要なもの』 <i>買物・通院手段／防犯・高齢者対策とした多機能なサロン／見守りパトロール／高齢者が楽しめる行事／若い人が住める環境の実現／スーパー／食堂／教養施設／高齢者の運動施設／老若男女の交流 等</i> |
| | 時間 | 15:30~17:00 | |
| | 場所 | 緑ヶ丘区自治集会所 | |
| | 参加者 | 自治会関係者 15 名 村長 地域づくり推進課員 | |

| | | | |
|-------------|-----|--------------------------------|---|
| 第 4 回 | 実施日 | 平成 31 年 2 月 6 日 (金) | ■ワークショップ ①『集会所がこんなところだったら行ってみたい』 <i>スポーツ・文化の初心者向け講習会／喫茶的な機能を持つサロン／放課後の小学生の勉強場所にする／食料品の出店／野菜市や日替わり市／自由に使える 等</i> ②『外から来る若い人にやってほしいこと』 <i>日用品・食料品の買い物／診療所・医者への送迎／全戸にアンケート・ヒアリング／定期的な出店／軽スポーツ大会等のイベント／若者との交流会／空き家対策 等</i> |
| | 時間 | 10:00~12:00 | |
| | 場所 | 緑ヶ丘区自治集会所 | |
| | 参加者 | 自治会関係者 11 名 村長 地域づくり推進課員 | |

『』…ワークショップのテーマ、斜体…ワークショップで出た意見

ワークショップの結果 ～平成 31 年度に緑ヶ丘区として取り組むこと～

6 月から雇用予定の地域おこし協力隊*の隊員が、緑ヶ丘区の現状・問題点について新しい視点から調査・分析したうえで、緑ヶ丘区自治集会所を使った新たなサロンの企画・実施に住民の協力をもらいながら取り組む。



それを1つのきっかけに、子どもや高齢者の問題など地域の課題についても、皆で意見を出し合い、実践することを繰り返していくことで、地域の活性化や新しい力の発掘につなげていくことを目指す。

*) 地域おこし協力隊

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした総務省所管の取組。都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱するもの。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や住民の生活支援に取り組む。

ワークショップの様子

